

学習内容報告書 フォーマット

学校名	呉市立警固屋中学校
授業者	松田光弘・中島秀和・安達晴美・埜田英樹・西河内萌花・金平恵・森寛子・清水昭也 菅紀子・盛本保之・野町綾子・河本裕子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海で生活する生物について

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

学校行事，学活

1-4. 単元の概要

宮島水族館を見学し，海で生活する生物への親しみを持つとともに，ガイドの方から展示の説明を受けることにより，瀬戸内海の生物の生態や環境についての理解を深める。このことにより，海の生物や環境を守るために必要なことや自分たちができることについて考えさせ，意識付けをする。

そして，宮島水族館の見学を通して学んだことを発展させ，海の生物や環境を守るためのアイデアを考え，それを「海の未来予想図」として絵や図，文章でまとめる。生徒の描いた絵や図などは掲示することにより共有を図る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校の生徒は，昨年度，本事業においてマイクロプラスチックの問題について講演を聴き，海の環境や生物の置かれた現状について理解を深めた。そのことを踏まえ，本単元では，水族館の見学を通して，海の環境や生物の状況を知り，海の環境が生物に与える影響について考える。また環境保全について，自分たちができることを考えさせる。さらに，移動手段として，陸路ではなくフェリーを利用することで，海を利用することの利点についても考えさせるきっかけとしたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

○海の環境や生物についての現状認識をする。

○未来に向けて，海の環境や生物を守っていかこうとする心情と態度を養う。

○海の環境についての課題を解決しようとする態度を養う。

1-7. 単元の展開（全8時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ○宮島水族館見学の目的を知る。 ○館内でのグループ分け ○学年ごとのグループワークの内容を知る ○諸注意 	<ul style="list-style-type: none"> ○集合時間，場所，移動中の安全面について指導する。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○呉港集合 ○フェリー乗船 ○宮島水族館（解説ツアー） ○学年ごとのグループワーク ○フェリー乗船 ○呉港にて解散 ※振り返りは宿題とする 	<ul style="list-style-type: none"> ○館内では，教師は生徒の班に同行して回る。 ○グループワークでは生徒の安全に留意する。
1	<ul style="list-style-type: none"> ○未来の海の環境や生物を守っていくためのアイデアを考え，それを「海の未来予想図」して描くことについて，教師の説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体例を挙げながら説明する。実現しそうかどうかではなく，自由な発想で描くようにさせる。 ○絵が苦手な場合は，文章でもよい。 ○「海の未来予想図」は家庭で描かせる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

水族館等の見学を通して、「海」と私たちの生活との関わりを考える。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○宮島水族館到着。館内での行動について、教師の話聞く。</p> <p>○解説ツアー①（3年2班，2年1班 計3班）開始 （他の班は自由見学） 【ツアーの内容】 ※瀬戸内海に生きる生物（スナメリ，カブトガニ，カキ等）の特徴 ※地球温暖化が魚へ及ぼす影響 等</p> <p>○解説ツアー②（2年1班，1年2班 計3班）開始 ※他の班は自由見学</p>  <p>○宮島水族館退館 ○振り返り</p>	<p>○生徒の班と一緒に回りながら，活動を支援する。</p> <p>○ガイドの話聞く態度を意識させる。</p> <p>○必要なことはメモを取りながら説明を聞かせる。</p>

3. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

3-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

3-2. 本時の目標

未来の海の様子を予想して描く「海の未来予想図」についての説明を聞いて内容を把握する。また、この制作を通して、海と自分たちの関わりについて、深く考察するきっかけとする。

3-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○宮島水族館で見学した内容を想起させる。</p> <p>○宮島水族館の見学の振り返りの中から、「海の環境や生物を守って行くために私たちができること」の例を聞く。</p> <p>○説明用のプリントを配布する。</p> <p>○海の環境や生物の命を守るためのアイデアを表現した「海の未来予想図」について説明する。</p> <p>○「海の未来予想図」の制作は、家庭で行うよう伝える。</p>	<p>○タブレットを使用し、写真を見せることで具体的に想起させる。</p> <p>○実現可能かどうかは問わないこと、自由な発想で描いて欲しいこと、絵が苦手な生徒には文章で表現してもよいことを伝える。</p> <p>○どのようなものを描けばよいのか、生徒がイメージを持ちやすいよう、具体的な例を示しながら説明する。</p> 

4. 今回の活動の自己評価

○生徒は、解説ツアーガイドの方の話を、メモを取りながら熱心に聞き、瀬戸内海に生きる生物の実態や、地球温暖化がもたらす生物への影響についての理解を深めることができた。振り返りの感想を見ると、将来にわたって、海の環境やそこに生息する生物たちを守っていくために、自分たちができることを考えるきっかけになったようである。

○「海の未来予想図」を描く活動では、自由な発想で描くように指導をした。海のゴミや汚れを濾過してきれいにする装置を作るアイデアを考えた生徒が多かった。

5. 今後の課題

○理科や社会科の内容と関連させることで、教科横断的な取組として行うことができる。その場合、見学の実施時期の検討が必要である。

6. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。